

令和2年度 入学者への学長祝辞

和歌山大学に入学された928名の皆さん、入学おめでとうございます。そして大学院に入学・進学された219名の皆さん、入学・進学おめでとうございます。

本来であれば、皆さんを和歌山大学に迎えるために、入学式を挙げるべきところではありますが、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、密閉空間、密集場所、密接場面の三つを避けることが求められ、誠に残念ではありますが、入学式を挙行しない判断をいたしました。入学にあたり、皆さんへのお祝いとしてのメッセージを、ここでお伝えします。

和歌山大学は、教育学部、経済学部、システム工学部、観光学部の四つの学部から構成されますが、これらの学部がいずれも1学科/1課程で構成されています。これが、和歌山大学における教育の最大の特徴です。学部が学科に細分化されている他の大学と異なり、本学が1学科制を採用しているのは、広範な教養教育と専門教育により、守備範囲の広いしなやかな専門性を身につけることで、特定の分野だけでなく異なる学術・技術領域を見渡す力を身につけることがこれからの社会で必要とされると考えているからです。

現在、社会は激しく動いており、社会構造、産業構造が将来どのように変化するか予測が困難になっています。特に、AI、IoTの発達は、これまでの仕事のあり方を大きく変え、人の活躍の場を奪う可能性も指摘されています。このような環境の中で、これからの社会、産業を担うには、一つの分野を研ぎ澄ますだけでなく、他の分野を含めた広い知識領域を身につける必要があります。本学では、このような視点から、教養教育、専門教育の見直しを重ね、現在の教育体制を創り上げてきました。これからも基幹として重要な分野の教育を確固たるものとしながら、社会の変化に合わせた教育のあり方を追究していきます。

現在、本学の学びをより広範で実践的なものとする為に、各学部の垣根を超えた学び、そして大学と外部との垣根をも超えた学びへと進化させようと考えています。我々が「オープン

ンエデュケーション」と呼ぶ、学内外の教育資源を活用した開かれた学びを実現することで、例えば、経済学部に入學した皆さんがAIを学ぶことができる環境、システム工学部に入學した皆さんがテクノロジーを観光分野へ展開して新しいビジネスを創造できる環境を整備できるようになるでしょう。また、学生の皆さんだけでなく、既に社会で活躍されている方に対して、ステップアップに向けた教育プログラムを提供することで、若い学生の皆さんと社会人が共に本学キャンパスで学び、相互に刺激しあえる環境を作りたいと考えています。このような取り組みにより、和歌山大学を、社会変革を成し遂げる人たちを輩出する場としていきます。

和歌山大学での学びのポテンシャルを皆さんが自ら引き出すことで、先の見えない社会の中で確固たる自らの道を拓く力を身につけることができると確信しています。和歌山大学での学びにより皆さんが大きく成長されることを期待します。



令和2年4月5日

和歌山大学長 伊東 千尋